



ロッジを清掃し、キャンプの事前研修を実施しました！

7月3日（日）に、周防の森ロッジにおいて、「ロッジ清掃・教育キャンプ事前研修①」を実施しました。中学生リーダー養成講座受講生（中学1年生）5人、光ジュニアクラブ会員（中学2年生～高校3年生）12名の参加がありました。



ロッジ清掃では、夏季休業中に市内外から多くの方が訪れる予定であり、中リーの活動でもよく使わせていただく周防の森ロッジに感謝の心を込めながら、ガードレールを雑巾できれいに拭いたり、森の中に落ちている葉や枝を集めたりする作業を熱心に取り組むことができました。活動後に、周防の森ロッジの所長さんにも、お褒めの言葉をいただき、充実感を味わうことができました。以下は、参加者の感想です。

○高校生リーダーの先輩が、場の空気を明るくするために、たくさんのお話をしてくれたので、みんなで楽しく清掃ができました。私もいつか、今日の高校生リーダーの先輩のようになりたいと思いました。

○ガードレールのコケを落とすだけで、前よりももっときれいに見えました。意外ときれいになったので、やり甲斐を感じました。

○森の中に入ると、落ち葉や枝が沢山ありました。道にあった落ち葉や枝をとったので、これで道を安全に通ることができると思いました。

○枝を集める作業をされていて、虫がいたので、最初は嫌だったけれど、去年のデイキャンプの時に、この枝を使って火おこしをしたのを聞いてすごいと思ったし、その他にも発見することも多かったので面白かったです。

○ガードレールが、緑色だったのが15分くらいで白色になったので気持ち良かった。



ボランティア清掃は今年度2回目になり、今回も意欲的に取り組みました。



真剣に話を聞いて、今後行われるデイキャンプに生かそうとする姿勢が素晴らしかったです。



CCレモンというレクリエーションをしています。条件に合った仲間だけが円の中心に集まり、掛け声とともに飛び上がります。

教育キャンプ事前研修①では、和久企画協力員が集団づくりの研修を行い、雰囲気はややかになったところで、キャンプにおける笛の合図を教えてくださいました。その後、石川企画実行委員から、KYT（危険予知トレーニング）を教わり、野外炊事のイラストから考えられる危険を挙げ、その危険を取り除くためにどのような取組をすればよいかを班で話し合いを行い、発表しました。その後、キャンプのねらいや、リーダーとしてどのように活動すべきなのかを教わりました。

最後に、高校生リーダーの小田さんが中心となり、レクリエーションを行い、活動を終わりました。以下は、参加者の感想です。

OKYT（危険予知トレーニング）やリーダーとしての心構えを聞いて、小学生とどんな関わり方をすれば良いか、キャンプではどんなことに注意すれば良いかがしっかり分かりました。

○私は人前に出ることが苦手でした。しかし、この中リーに入ったことで、人前に出ることができるようになり、とても成長したと思っています。

○班で活動することが何回もあり、他校の仲間や、同じ学校でも話したことがなかった仲間とも話すことができたので楽しかった。

ロッジ清掃・教育キャンプ事前研修①を終えての感想 ※一部抜粋

○教育キャンプ事前研修①では、中リーは主役ではなく、主役は小学生であり、中リーはサポート役だということを忘れないことが大切だと分かりました。みんなを楽しませるために、まず自分が楽しむことが大切だと思いました。

OKYT や掃除について、また、リーダーとしての心構えなどを学び、キャンプの時に大切な事ですが、これは日常生活でも使えることを学ばせてもらったので、これからの生活に活かしていきたいと思いました。

○私は学校で、学級委員をしているので、今日聞いた「リーダーとしての心構え」を参考にし、学校でもリーダーになれるように頑張りたいと改めて思いました。